



希望の春を迎えて

校長 本庄 則子

桜をはじめ色とりどりの花が咲き、小鳥のさえずりが心地よい季節。新たなる年度が始まり希望あふれる4月を迎えました。3月の卒業式では、65名の卒業生が立派な姿で岸谷小を巣立っていきました。ひとえに、地域・保護者の皆様の本校の教育活動へのご支援の賜であると感謝申し上げます。ありがとうございました。

4月1日付けで神奈川区幸ヶ谷小学校より、矢崎 真理 校長の後任として着任いたしました本庄 則子（ほんじょう のりこ）と申します。伝統と歴史ある岸谷小学校で、この地域の皆さんとともに生活し、学び合うことができることをとても楽しみにしております。



ピカピカの一年生、入学おめでとうございます

本日、新たに53名の新一年生を迎えることができました。保護者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。小学校生活の出発にあたり、お子様の健やかな成長に大きな期待を抱いておられることと思います。また、新一年生の子どもたちにとりましても、初めての学校生活、不安と緊張の中にも、期待で胸が膨らんでいることと思います。一日も早く学校生活に慣れ、毎日が喜びと楽しさに溢れるものとなるよう、教職員一同全力を尽くして取り組んで参ります。

一人ひとりの子どもたちの輝き

4月5日に新年度・入学式の準備がありました。一年生の教室の清掃や飾り付け、体育館での入学式会場準備、各教室の机・いすの準備等、新一年生のため、そして全校児童のため自分の分担を一生懸命果たそうと頑張っている元気な六年生の姿がありました。「最高学年」としての自覚をもって取り組んでいるその姿は、どの子どもも輝いていました。今後の活躍がとても楽しみです。

矢崎前校長より、岸谷小学校では、「〔希望・きぼう〕 社会に視野を広げ、たくましく未来を拓く意欲をはぐくみます 〔幸福・しあわせ〕 生命や健康を大切にし、主体的に課題を解決する力を高めます 〔優愛・やさしさ〕 互いを認め合い、まちを愛しまちのために役立とうとする心を育てます」の教育目標のもと、特別支援教育を学校経営の中核理念として位置づけ、学校運営を行ってきたとうかがっています。全校児童の一人ひとりが、かけがえのない自分の存在を実感するとともに、支え合う仲間や理解してくれる大人、そして包んでくれている町（地域）に気づき、よりよい自分を育てていこうとすることができるよう「全校児童一人ひとりを全教職員で見守り育てる」姿勢を堅持しながら教育活動を進めてまいりたいと思います。そして、入学・進級した379名一人ひとりが、自分らしさを発揮し輝いていけるように教職員一同努力してまいります。

今年度も保護者・地域の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。